**調査結果の概要**

**１　学校数**

― 幼稚園は30年連続減少 ―

― 中学校は過去最高 ―

**（１）学校数の推移**

****

・幼稚園は766園で、前年度より8園減少（30年連続減少）

・小学校は1,033校で、前年度より3校減少（4年連続減少）

・中学校は534校で、前年度より1校増加（平成22年度と同数で過去最高）

・高等学校（全日制・定時制）は257校で前年度より3校減少（2年連続減少）

**（２）公立・私立別、学校種別の学校増減数**



・公立は、幼稚園25校、小学校10校、高等学校（全日制・定時制）で8校の減少。中学校は増減なし

・私立は、幼稚園が4校減少し、小学校、中学校、高等学校（全日制・定時制）は増減なし

**２　生徒（在学者）数**

― ピーク時の約半数。小学校は初めてピーク時の半数を割込む ―

― 高等学校（全日制・定時制）は7年連続増加 ―

1. **生徒（在学者）数の推移**



・ 幼稚園は11万6,952人で、前年度より2,193人減少（ピーク時 昭和52年度21万1,460人の55.3％）

・ 小学校は45万5,633人で、前年度より7,435人減少（ピーク時 昭和55年度92万1,519人の49.4％）

・中学校は24万8,947人で、前年度より3,819人減少（ピーク時 昭和61年度46万931人の54.0％）

・高等学校（全日制・定時制）は23万6,529人で、前年度より3,534人増加

（ピーク時 平成元年度42万6,706人の55.4％）

**（２）１学級当たりの生徒（在学者）数の推移**



・幼稚園は24.7人で、前年度より0.1人減少（2年連続減少）

・小学校は25.0人で、前年度より0.4人減少（35年連続減少）

・中学校は29.8人で、前年度より0.5人減少（9年連続減少）

**３　長期欠席者数**

1. **理由別長期欠席者数の推移**

　

・小学校は5,606人で、前年度間より179人増加（前年度より増加）

・中学校は1万2,477人で、前年度間より609人増加（5年連続減少していたが転じて増加）

・最も多い長期欠席理由は、小学校が「病気」で2,248人、中学校が「不登校」で8,003人

・小学校では、約247人に1人、中学校では、約32人に1人が不登校

**（２）不登校による長期欠席者の他府県比較**

　　　

・大阪府の小学校は、平成21年度間まで減少が続いたが、平成24年度間より2年連続増加

・大阪府の中学校は、平成22年度間まで減少が続いたが、平成23年度間より3年連続増加

・平成25年度間は、小学校・中学校ともに全国的に増加傾向

・平成25年度間の小学校は東京都が最も多く、神奈川県、愛知県と続く。大阪府は全国4番目

・平成25年度間の中学校は東京都が最も多く、大阪府、神奈川県と続く

**４　教員数（本務者）**

**―** 小学校・中学校は増加傾向 ―

1. **教員数（本務者）の推移**



・幼稚園は7,596人で、前年度より22人減少（2年連続減少）

・小学校は2万7,215人で、前年度より82人増加（2年連続増加）

・中学校は1万7,025人で、前年度より71人増加（9年連続増加）

・高等学校（全日制・定時制）は1万4,901人で、前年度より20人増加（前年度より増加）

**（２）教員（本務者）１人当たりの生徒（在学者）数**



・幼稚園は15.4人で、前年度より0.2人減少（11年連続減少）

・小学校は16.7人で、前年度より0.3人減少（14年連続減少）

・中学校は14.6人で、前年度より0.3人減少（5年連続減少）

・高等学校（全日制・定時制）は15.9人で、前年度より0.2人増加（7年連続増加）

**５　公立・私立別入学状況の推移**

― 幼稚園の入園者割合は、私立が上昇傾向 ―

― 高等学校（全日制・定時制）の同割合は、私立が2年連続上昇の後、2年連続低下 ―

**（１）公立・私立別入学（園）者数の割合の推移**

　　　

　　　

**（２）入学定員・入学志願者数・入学者数の推移（高等学校（全日制・定時制））**



大阪府の授業料支援制度

平成22年度　公立高校生の授業料無償化

平成23年度　私立高校生等授業料支援

補助金の拡充

平成24年度　公立高等学校入学者選抜

（前期・後期）の拡充

平成26年度　高等学校等就学支援金制度の

見直し（所得制限の導入）

**（３）入学者のうち私立への入学者の占める割合（高等学校(全日制・定時制)）**



・大阪府は40.4%で、平成23年度以降4年連続40%超え

◆平成26年度の他府県比較

・大阪府は全国平均を8.9ポイント上回る

・都道府県別では東京都が最も高く、京都府、福岡県と続く。大阪府は4番目

**６　中学校の卒業後の状況**

**―** 進学率は98.0％ ―

　― 卒業者に占める就職者の割合は0.5％ ―

1. **卒業者総数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移**





・卒業者は8万5,560人で3年連続増加（ピーク時 昭和63年度15万3,542人の55.7％）

・進学率は98.0％（過去最高から転じて低下）

・卒業者に占める就職者の割合は0.5％（2年連続過去最低から転じて上昇）

**（２）全国平均との比較**

　　　　

・高等学校等への進学率は、大阪府は全国平均より0.5ポイント(\*)低く、全国39番目

・卒業者に占める就職者の割合は、大阪府は全国平均より0.1ポイント高く、全国10番目

(\*)2ページ「利用上の注意」３を参照

**７　高等学校（全日制・定時制）の卒業後の状況**

　― 大学等への進学率は10年連続50％超え ―

　― 専修学校（専門課程）への進学率は増加傾向 ―

　― 卒業者に占める就職者の割合は11.6％ ―

**（１）卒業者総数、進学率、卒業者に占める就職者の割合の推移**





・卒業者は7万1,422人で前年より1,084人減少（ピーク時 平成3年度13万5,563人の52.7％）

・大学等への進学率は58.3％（前年より0.7ポイント(\*)上昇）

・専修学校（専門課程）への進学率は15.1％（前年より0.1ポイント上昇）

・卒業者に占める就職者の割合は11.6％（前年より0.4ポイント上昇）

**（２）全国平均との比較**

　　　　

・大学等への進学率は、大阪府は全国平均より4.6ポイント(\*)高く、全国7番目

・卒業者に占める就職者の割合は、大阪府は全国平均より5.9ポイント低く、全国44番目

(\*)2ページ「利用上の注意」３を参照

**８　特別支援学校**

― 学校数、在学者数、教員数（本務者）ともに過去最高 ―

1. **学校数・生徒（在学者）数・教員数（本務者）の推移**

****

**（２）部別生徒（在学者）数の推移**

****

・学校数は47校で、前年度より1校増加（2年連続増加）

・在学者総数は8,831人で、前年度より271人増加（18年連続増加）

幼稚部の生徒数は134人で、前年度より5人減少

小学部の生徒数は2,048人で、前年度より39人増加

中学部の生徒数は2,496人で、前年度より160人増加

高等部の生徒数は4,153人で、前年度より77人増加

・教員（本務者）は、4,938人で、174人増加（25年連続増加）

**９　専修学校・各種学校**

　― 各種学校の学校数は35年連続減少で過去最低―

　― 専修学校の生徒数は3年連続増加 ―

1. **学校数及び生徒数の推移**



・専修学校の学校数は226校で、前年度より5校減少（3年連続減少）

・専修学校の生徒数は7万409人で、前年度より143人増加（3年連続増加）

・各種学校の学校数は45校で、前年度より5校減少（35年連続減少）

・各種学校の生徒数は1万790人で、前年度より24人減少（前年度より減少）

**（２）分野別構成比の全国平均との比較**

　

・専修学校生徒数は、全国で最も割合の高い「医療関係」では、全国平均を3.3ポイント下回っている

また「文化・教養関係」では3.2ポイント上回っている

・各種学校生徒数は、「予備校」が56.4%と過半数を占めており、全国平均の19.1%よりも37.3ポイント上回っている

また全国で最も割合の高い「自動車操縦」では、全国平均を16.1ポイント下回っている